

自治体における ケアラー支援の方策に関する 調査研究報告書



2023年3月

公益財団法人 東京市町村自治調査会

自治体における
ケアラー支援の方策に関する
調査研究報告書

2023年3月

公益財団法人 東京市町村自治調査会

概要版

■本調査研究の背景・目的

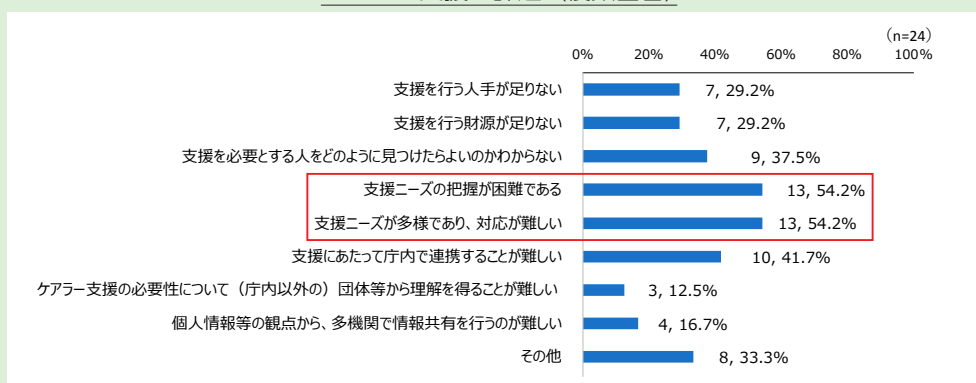
- ケアラーは介護等の負担から心身の健康を害したり、社会的に孤立したりする可能性があり、その結果就業への影響や生活が困窮する場合もある。また、ヤングケアラーについては、ケアによる過度な負担により心身の健康や学業の阻害要因となり、将来の進路への影響も懸念される。
- 本調査研究は、自治体におけるケアラー支援のあり方（支援方策・支援体制など）を示すことを目的とする。

■多摩・島しょ地域の現状

〈自治体〉

- ヤングケアラーやケアラーに対する支援を実施していると回答した自治体は39自治体中24自治体であった。施策は、「相談窓口の設置」、「集いの場（当事者同士の相談・語らいの場）を設置」を行っている自治体が18自治体であった。
- ケアラー支援の課題は、「支援ニーズの把握が困難である」、「支援ニーズが多様であり、対応が難しい」の回答割合が最も高かった。

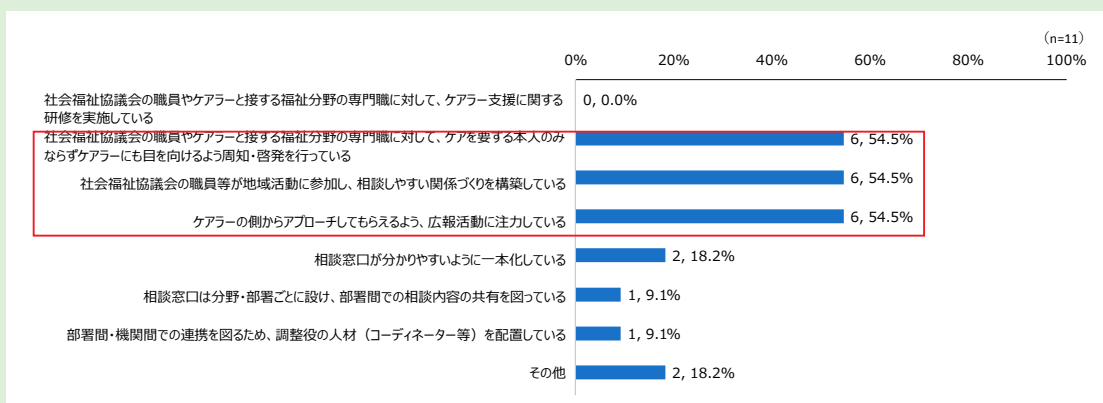
ケアラー支援の課題（複数回答）



〈社会福祉協議会〉

- ヤングケアラーやケアラーに対する支援を実施しているのはアンケートに回答のあった29団体中11団体であった。
- ケアラーを見つける（把握する）ための工夫は、「職員に対する周知啓発」、「地域活動への参加等の関係づくり」、「広報活動への注力」の回答割合が最も高かった。

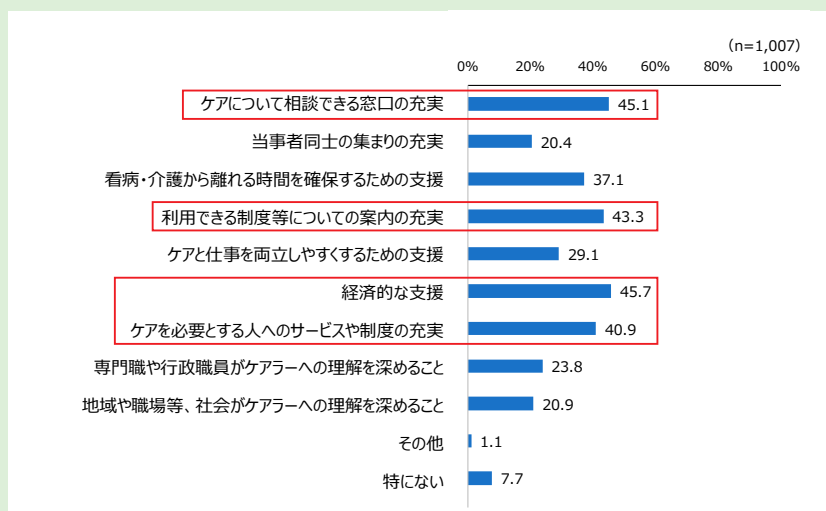
ケアラーを見つける（把握する）ための工夫（複数回答）



＜ケアラー（15歳以上の都内在住者）＞

- ケアの内容は、家事、身体的介護、外出の付き添い、病院の付き添い、感情面のサポート、見守り等多岐にわたる。
- ケアによる心身の健康状態への影響は、最も回答割合が高いのは「影響はない」（39.8%）であったが、残りの約6割の人は何かしらの不調を抱えている。
- 行政や支援団体、社会へ期待することは、「ケアについて相談できる窓口の充実」、「利用できる制度等についての案内の充実」、「経済的な支援」、「ケアを必要とする人へのサービスや制度の充実」がいずれも4割を超えている。

行政や支援団体、社会に期待する支援や変化（複数回答）



■先進事例の取組

全国でケアラー支援に取り組む先進的な自治体・団体を自治体の人口規模や面積、取組体制等の観点で、多様な事例を取り上げられるよう留意し調査を行った。

先進事例の対象自治体・団体およびその特色

対象	特色	
自治体名	埼玉県	日本初のケアラー支援条例制定
	東京都八王子市	重層的支援体制整備事業の枠組みにおいてケアラー支援に取り組む
	三重県名張市	地域共生社会の取組とともにケアラー支援に取り組む
	兵庫県神戸市	ヤングケアラー・若者ケアラー支援が充実
団体名	北海道栗山町社会福祉協議会	社会福祉協議会が主体となりケアラー支援を推進。自治体とも連携している
	東京都昭島市社会福祉協議会	地域包括支援センターと連携し、介護者の会等を実施
	NPO法人介護者サポートネットワークセンター・アラジン	ケアラー向け相談支援や、支援者養成、交流の場づくり、調査研究等を実施。

- ヒアリングの結果、自治体と社会福祉協議会等の中間団体が適切な役割分担を行い、きめ細やかなアウトリーチ活動を行いつつ、多機関連携等によって多様なケアラーを適切な支援に継続してつなげることの重要性が示唆された。
- ケアラー支援にあたっては、ケアラー本人の意向を尊重することが大切であることや、潜在的にケアの負担を抱えている人へアプローチすることの難しさが明らかになった。

■提言

ケアラーや自治体の現状と課題を踏まえ、ケアラー支援を充実させていくための具体的取組は以下の内容が考えられる。

現状と課題を踏まえたケアラー支援の具体的取組とその要点



- 具体的取組は、自治体内での複数部署の連携はもとより、社協等の中間団体とも連携し、それぞれの地域特性に合った体制を構築し実施することが重要となる。
- 各施策は、計画を立案し実施した後、ケアラーの負担軽減につながっているか等の観点から効果検証を行い、取組内容の改善を行っていくことが求められる。

■まとめ

- 高齢化の急速な進展や世帯構成の変化を受け、ケアラー支援の重要性はケアの社会化の観点からも今後一層高まっていくと考えられる。
- ケアラー支援においては多機関連携が重要であり、その多機関との調整を行うという点、さらにケアラー向け施策や周知啓発のための予算確保を含めた取組の継続性の担保という点から、自治体の果たすべき役割は大きい。

本編

目次

第1章 調査研究の背景目的等……………1

1. 調査研究の背景・目的……………	2
(1) 本調査研究の背景……………	2
(2) 本調査研究の目的……………	2
2. 調査研究の実施概要……………	3
(1) 概要調査……………	3
(2) 自治体アンケート調査……………	3
(3) 社会福祉協議会アンケート調査……………	3
(4) 都内在住のケアラーアンケート調査……………	3
(5) 全国の先進事例に関する調査……………	4
(6) 有識者ヒアリング……………	4

第2章 ケアラー支援の概論……………5

1. ケアラー支援の背景……………	6
2. ヤングケアラー、若者ケアラー、ケアラーの定義・範囲……………	7
3. 国内（国や東京都等）の動向……………	12
(1) 日本の政策動向……………	12
(2) 東京都……………	16
4. 海外の動向（イギリス、オーストラリア）……………	17
(1) イギリス……………	17
(2) オーストラリア……………	19

第3章 現状把握等……………21

1. アンケート調査の実施概要……………	22
(1) アンケートの目的・方法……………	22
(2) 集計・分析結果に関する留意点……………	23
2. 自治体アンケート結果……………	24
(1) 調査結果のポイント……………	24
(2) 調査結果……………	24
3. 社会福祉協議会アンケート結果……………	35
(1) 調査結果のポイント……………	35
(2) 調査結果……………	35
4. 都内在住のケアラーアンケート結果……………	47
(1) 調査結果のポイント……………	47
(2) 調査結果……………	48

第4章 事例分析……………75

1. 先進事例調査の概要……………	76
(1) 自治体事例……………	76
(2) 支援団体事例……………	77
2. 自治体におけるケアラー支援の先進事例……………	78
(1) 埼玉県……………	78
(2) 東京都八王子市……………	84
(3) 三重県名張市……………	90
(4) 兵庫県神戸市……………	96
3. 支援団体の取組動向……………	101
(1) 北海道 社会福祉法人栗山町社会福祉協議会……………	101
(2) 東京都 社会福祉法人昭島市社会福祉協議会……………	107
(3) NPO法人 介護者サポートネットワークセンター・アラジン……………	110

第5章 提言……………115

1. ケアラー支援の必要性について……………	116
2. ケアラー及びケアラー支援の現状と課題を踏まえた支援の視点……………	118
(1) ケアラーの現状……………	118
(2) 自治体におけるケアラー支援の現状と課題……………	120
(3) ケアラーのニーズを踏まえた支援の視点……………	121
3. 取組体制……………	122
4. ケアラー支援の具体的取組について……………	125
5. 結びに……………	135

付録資料……………137

